

## ●「フランス政府観光局」は「フランス観光開発機構」と名称変更

「フランス政府観光局」の母体でフランス国外向けに観光をプロモーションする機関であるメゾン・ド・ラ・フランス **Maison de la France**と、観光の開発・技術供与・観測の組織であるODIT Franceの2機関が2009年5月に統合し、アトゥー・フランス **Atout France**が創設されました。エルヴェ・ノヴェリフランス観光担当大臣のコミュニケではAtout France, Agence de développement touristique de la Franceとされており、これにともなってフランス政府観光局の各国支局も従来の現地語名称を変更することになりました。日本では2009年7月1日をもって**フランス観光開発機構**と名称変更しています。

国家レベルでは唯一の観光機関として今後Atout Franceは観光事業に課せられる多くの課題に対応すべく、連携と効率化をさらに強化した公的政策を展開することになります。

なお新組織のディレクター・ジェネラルにはパリ観光会議局長等を歴任したクリスチアン・マンテイ氏が、プレジデントには元文化広報大臣ルノー・ドヌデー＝ド＝ヴァブル氏が就任しています。

## ●フランスの新しいホテル格付け制度

フランスのホテル格付け基準は、商業・手工業・中小企業・観光・サービス・消費担当大臣が発布する法令により定められていますが、2008年12月22日に発布された新法令により5ツ星を最高ランクとする新しい格付け基準が定められました。新基準が施行された2009年10月1日より前に、5ツ星の格付け審査は2009年初頭から行われており、2009年6月11日には初の5ツ星登録を認可されたホテル11軒が発表されました。

新格付け制度の導入の背景には外国人観光客から高級ランクホテルの需要が高いこと、多くの観光先進諸国では5ツ星を最高ランクとする中、フランスは4ツ星デラックスが最高ランクとしていたため外国人顧客獲得にハンディとなっていたことがあります。

新格付け制度の詳細は次項エスパス・プレスに掲載の資料をご参照ください。

## ●フランス観光開発機構のホームページにエスパス・プレスができました！

フランスは雑誌、テレビなどで取り上げられることも極めて多い観光大国ですが、当機構ではさまざまな形でメディアのフランス取材をサポートしています。このほど公式ウェブサイト[www.franceguide.com](http://www.franceguide.com)の中にエスパス・プレスを創設し、フランスを扱う記事・番組の制作にあたる皆さまにご利用いただけるようになりました。エスパス・プレスでは年間のフランス招待取材のご案内やオンラインフォトライブラリー、フランス取材のヒントとなる各地の最新情報、来日ミッションによる各種プレス資料などのコーナーを設けています。どうぞ奮ってご活用ください。

アドレス：[www.franceguide.com/jp-presse](http://www.franceguide.com/jp-presse)

## ●ニースのカーニバル、2010年のテーマは「青い惑星の王様」

リヴィエラの中心都市ニースは、文化遺産に建築遺産、粒ぞろいの美術館、多彩な風景と、あらゆる魅力が揃います。絵画や食を始め、引出しの多さにより、プレスの方々の取材地としても高い人気を誇ります。

第126回を迎える2010年のカーニバルのテーマは「青い惑星の王様」と題され、世界的関心事である自然保護と保全を取り上げます。辛辣な視点を持ちながらもユーモラスに盛り上げるカーニバルの精神が、世紀の大問題をどう扱うのか注目が集まります。2010年2月12～28日。

アドレス：[www.nicecarnaval.com/](http://www.nicecarnaval.com/)

このリリースのお問合せ： フランス観光開発機構 広報担当：佐藤由紀子 Tel 03-3582-0994